



連合は
「働くことを軸とする安心社会」を
めざしています。

発行

連合島根出雲・雲南地域協議会

TEL(0853)25-7022

スペシャル・オリンピック

スペシャルオリンピックとは知的障がいのある人たちにさまざまなスポーツトレーニングとその成果の発表の場である競技会を、年間を通じ提供している国際的なスポーツ組織であり、この度、スペシャルオリンピック日本・島根トーチラン2018が開催されるにあたり、雲南地区会議と雲南市職員労組、ホシザキ労組と共同で、人的・金銭的支援をおこないました。協力いただいた皆様にお礼申し上げます。



知っていますか？

「地域フォーラム」を開催！



連合島根と出雲・雲南地協共催で、2018地域フォーラムを9月15日(土)ビッグハート出雲で開催した。この地域フォーラムは、地域における定住対策や地場産業の活性化と、働く者の処遇改善を一層地域で進めるためには、「地域の企業の活性化が不可欠」であることから、地域の幅広い関係者(産・官・学・金・労・言)の対話によって、地域全体の活性化につなげることを目標として、中小企業の活性化や若者の雇用促進、適正な公共サービスや公平な取引関係の確立による企業の活躍促進などの必要性を鑑み、労働側だけでなく行政や企業、新社会人・情報機関などの関係者による参加型の会議(パネルディスカッション)形式を進めることとし、今回は県東部出雲圏域の中小企業の取組みに焦点をあて「地域の中小企業の魅力づくりと人手不足解消に向けて」をテーマに人材確保策の課題と方策について意見を交した。

【内容】

<基調講演> 島根県立大学総合政策学部 教授 久保田 典男 氏

<パネルディスカッション>

コーディネータ：久保田 教授

パネリスト：長岡 出雲市長、達 社長(清和鉄工)、福富さん(バイタルリード)

藤間さん(島根電工)、神津会長(連合本部)、福丸論説委員長(山陰中央新報社)

西日本豪雨災害復旧ボランティア

今年は、地震や豪雨・台風災害が非常に多いと感じられていると思います。7月の西日本豪雨災害においては、広島・岡山・愛媛に甚大な被害をもたらしました。

連合島根は、7月の豪雨により被災された広島県の災害復旧ボランティアについて、連合広島と調整を図りつつ派遣を行ない「のべ137名」を派遣しました。(8月7日から4日間)8月に入っても猛暑日が続き日差しも厳しく37℃を超える中で、3班体制をとり、それぞれに責任者を設けて10分作業しては20分の休憩と水分補給しながら担当した被災宅の泥出し作業に汗した。担当した矢野東7丁目地区は、少なくとも7名の方が犠牲になられた地区であり、住宅地の被害も多く復旧には相当の時間を要すると感じました。犠牲になられた方のご冥福と、1日も早い復興をお祈りします。また各産別から参加して頂いた皆様にお礼申し上げます。



連合・平和行動

連合の平和行動は、6月23日の沖縄を皮切りに、8月5日の広島、8日の長崎と続き、出雲・雲南地協からも参加しました。

平和であることがあたりまえ...と思いませんか？しかし、いまだ戦争の爪痕に多くの人々が苦しんでいるのです。

世界で唯一原爆が投下され、後遺症に苦しむ広島と長崎、米軍基地が多く置かれ過度な負担を強いられる沖縄、領土を奪われ多くの住民が故郷を失った北方四島においては、戦後70年以上が経った今も真の平和、安定した社会の実現は成されていません。

また連合は、毎年6月～9月に行う「平和4行動」をはじめ、平和運動を推進しています。

